ミーティングリポート

今回のスポーツネットミーティングは、テカールという治療器を使用して活動している芝地より、「テカールの活動報告」ということで、近年の活動報告と今後について話をしました。

＜テカールの活動報告＞

〇世界の大会のサポート:

テカールの主な活動種目に陸上競技があります。ダイヤモンドリーグ、世界陸上、マラソンなど年間6回のペースで大きな大会のサポートを実施しています。先日、ドーハで開催された世界陸上へ行き、その後、シカゴマラソンのサポートも行いました。ドーハの前にはケニアに行き、選手達のサポートをしました。ケニアに行くのは今回6回目です。ケニア人はフレンドリーで日本人に近い感覚がありますが、生活は大変です。現地の食生活になじめるかどうかも、世界で活動するには大事になります。また、日本からケニアへの移動時間は22時間～24時間かかりますので、時差の調整も大切になります。セラピストだけでなく、選手に取っても大事な調整の1つなので、自分の経験から伝えられる調整方法は選手に伝えていっています。

テカールを扱うセラピストは世界で10人前後います。今回の世界陸上では、常時4～5人が帯同し、大会を通して120～130人の選手にトリートメントを実施しました。毎日10～15人を対応した計算となり、セラピストが手分けして選手を対応していきました。今回対応した選手達の中で、4人が金メダルを獲得、銀メダルや銅メダルを合わせると10～13個のメダルを獲得していました。その後、シカゴマラソンのサポートに行き、サポートした女子の選手がワールドレコードを更新しました。

このような大会でのサポートで大事にしているのは、選手の邪魔をしない事です。以前は選手のパフォーマンスを良くしようとしていたが、邪魔をしているように感じていました。間違いなく勝つと言われている選手は大きなプレッシャーの中でピリピリしているし、そういう選手をセラピストが頑張って対応してしまうと邪魔になることがあります。国や環境が違う中で、選手の普段通りの状況を作る事もセラピストの大事な役割だと思います。このような理解が出来るようになった事は、自分の成長だと感じます。

〇今後の活動:

陸上界で金メダルを獲る選手は、レース前後にテカールセラピーを必ず受けているので、それをきちんと運営側に説明して、大きな大会にオフィシャルとして入り、サポートをしています。それが信用に繋がり、テカールの認識が広がってくると思っています。このようにテカールを広めていく立場として動きたいと思っています。海外のセラピストは日本に来たいと思っており、日本のセラピストも海外に行きたいと思っているので、セラピストのスイッチングプログラムが出来ればと考えています。日本人のセラピストは、ハンドリングの技術が繊細で高いですが、コミュニケーションが通用しにくいです。島口にプライドの高さを出すのではなく、お互いのやり方や考え方を尊重してコミュニケーションを取れれば、確実に日本人のセラピストは海外で活躍できると思います。東京オリンピックでも日本人のセラピストは必ず必要になるので、興味のある方はご連絡ください。

参加者：治療家１名、理学療法士３名、トレーナー１名、学生２名　　合計７名

＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＞＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜＜

次 回 の 開 催 予 定

次回の開催は、2020 年1月 12 日（日）・13 日（月・祝）にスポーツネットミーティング2020 を同志社大学今出川キャンパスにて開催します。参加希望される方はメール（info@bb1992.com）または TEL/FAX（0774-24-3644）にてご連絡頂きますようよろしくお願い致します。

＜＜懇親会申込書＞＞

懇親会に参加申し込みます。

氏名		所属	
連絡先		参加人数	

メール（info@bb1992.com）又は FAX（0774－24－3644）にて11月29日（金）迄にご返送下さい。